

THE SAISON FOUNDATION

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、ヴィジティング・フェローの紹介

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、ヴィジティング・フェローとしてパリを拠点に活動する振付家でパフォーマンス・アーティストのソルルール・ダラビ氏をお迎えいたします。

ダラビ氏はイラン出身のアーティストで、独学でパフォーマンスを学び、2013年からパリを拠点に活動しています。イランではコンテンポラリーダンスの普及を試みる地下組織 ICCD の一員として、積極的に活動。渡仏後、モンペリエ国立振付センターで研修し、時間による変容と環境との共生を問う『Subject to Change』や、モンペリエ・ダンス・フェスティバルで、言語、ジェンダー、アイデンティティ、セクシュアリティの概念を扱う『Farcie』を発表するなど、自然、ジェンダー、アイデンティティを題材にそれらの既成概念を問う作品を創作。近年では、クンステン・フェスティバル・デザール、チュールリッヒ・テアター・スペクターケル、ゾフィエン・ゼーレ、パレ・ド・トローキョーなど、世界有数のフェスティバルや劇場、美術館で作品が発表されています。

今回の来日では、2024年にモンペリエ・ダンス・フェスティバルで初演予定の新作、『Mille et une nuits(千夜一夜)』の創作の一環として、人間の声と身体の関係に着目し、不自然な声という特殊な美学を探るリサーチを行います。トランスジェンダーとして、身体から声を切り離す試みは人間の声と身体の関係の既成の関係を政治的な美学と考えるダラビ氏は、過去の知識を未来志向のテクノロジーに接続することで、声を解体し、新しい存在の探求を試みます。

滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを理解していただくため、舞台芸術関係者と交流していただく予定です。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在テーマ Mille et une nuits(千夜一夜)
- 滞在期間 2022年12月7日(水)―12月28日(水)
- 滞在场所 森下スタジオ(東京都江東区森下3-5-6)

ソルルール・ダラビ / Sorour Darabi (イラン / フランス)



イラン出身のアーティストで、独学でパフォーマンスを学び、2013年からパリを拠点に活動する。渡仏後、モンペリエ国立振付センターで研修し、『Subject to Change』(2015年)や『Farcie』(2016年)を発表。2018年、モンペリエ・ダンス・フェスティバルで発表した、ムハッラムの追悼の儀式に影響を受け、悲嘆、恐怖、苦しみといった感情への問いを題材に、愛情、脆弱性、影響を受けた存在への叙情歌『Savusun』で注目を集める。

近年では、クンステン・フェスティバル・デザールから委嘱を受け、現代神話の交差点にある無限の領域としてのジャングルに着想を得た『Mowgli』(2021年)を発表。また同年、「自然」の概念を問う作品、『Natural Drama』を発表した。

主催：公益財団法人セゾン文化財団

助成：令和4年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」



公益財団法人セゾン文化財団

〒104-0061 東京都中央区京橋3丁目12番7号 京橋山本ビル4階 TEL 03-3535-5566 / FAX 03-3535-5565